



## ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

平素より本学の教育に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、オンライン授業に係る通信環境の整備等にお力添えいただき、誠にありがとうございました。

オンライン授業に関しては、課題量が多くこなすのが大変だったという声、自己学習の取り組みやチャット機能を用いた意見交換が教室での授業に勝っていたとする声など、肯定・否定織り交ぜた評価がなされています。終日画面に向き合うことによる体調不良や疲労の蓄積、集中力低下などの訴えもあり、心身の負担が大きかったことも知れました。今後に備えて前期のオンライン授業を検証し、改善をはかる必要があると考えています。

この数ヶ月は、学生間の語らいや教員との対話、仲間と取り組む様々な活動といった当たり前に思われていた学生生活の一つ一つがいかに大切なものであったかに改めて気づいた日々でした。とりわけ保健医療職を目指す学生にとって、学内外での活動が将来につながる経験知を育む機会となりえます。互いの熱を感じ合

う人間的な交流の行えない辛い時間であったと思いますが、その一方で、自分の新たな能力を発見したり、できなかったことができるようになったりと、前向きに意味づけている学生も多くいることがうかがわれ、これからを担う人材としての頼もしさも感じられました。新型コロナウイルスによるパンデミックを経験し世の中が大きく変わりつつある今、この経験を今後の学生生活、保健医療職としての成長に活かしてもらいたいと願います。

また、この間、附属病院の職員2名と学生1名の感染が確認されており、保護者の皆さまには心配をおかけしました。適切な対応により拡大することなく現在に至っておりますが、最近道内でも大学生の感染が漸増していることから、後期の対面授業では一層の感染対策が必要と考えています。本学におきましては保健管理センターの指導により健康管理を徹底していますが、これに加えて学部内に感染対策グループを立ち上げ、感染拡大防止に取り組んでいます。後期の授業と感染対策に関し、後掲記事に取り上げておりますのでご一読ください。

気の抜けない日々が続きます。くれぐれも体調管理に気をつけられ、元気にお過ごしください。ますようお祈り申し上げます。



### 【令和2年度 前期学事 実施報告】 (1~4学年)

(4学年共通)

5月 7日 ~ 前期講義開始  
(遠隔授業)  
6月 25日 大学記念日  
8月 5日 ~ 8月 7日 「保健医療総論1~3」  
(4年生を除く)

(3年生)

8月 10日 ~ 8月 21日 夏季休業  
8月 31日 ~ 9月 11日 前期定期試験 (看護)  
9月 7日 ~ 9月 18日 " (理学・作業)  
9月 14日 ~ 臨地実習 (看護)

(1・2年生)

8月 10日 ~ 8月 21日 夏季休業  
9月 7日 ~ 9月 18日 前期定期試験

(4年生)

6月 1日 ~ 臨床実習 (作業)  
7月 20日 ~ 8月 7日 夏季休業 (作業)  
7月 27日 ~ 8月 7日 前期定期試験 (看護)  
8月 3日 ~ 8月 21日 夏季休業 (理学)  
8月 10日 ~ 8月 21日 " (看護)  
8月 24日 ~ 臨地実習 (看護)  
8月 24日 ~ 臨床実習 (理学)



今年度の前期授業は、学生および教職員の健康を護ることを最優先し、開始時期を遅らせ、一部の実習科目以外は、全てオンラインによって実施しました。開始当初は慣れない形態での授業となり、学生、教員とも戸惑うことが多く、また在宅時間が長く閉塞感の強い環境下での授業展開となりましたが、学生および保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげで、無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。

遠隔授業の運営にあたっては、幾つかの課題がありましたが、保健医療学部では検討を重ねた上で、以下のように対応しております。

- ・遠隔授業は、リアルタイム対面式のZoomとオンデマンド式のMoodleの二つのシステムを用いました。
- ・学生各自の通信状況を調査した後、必要に応じてWi-Fi環境に必要な通信関連機器やPCを貸与しました。
- ・授業中のネットワークトラブルはなく、他大学と比較し、安定した環境を提供できたと考えております。
- ・会話やグループワークを伴う授業や身体接触を伴う授業は、できるだけ後期に時間割を変更しました。
- ・授業に必要な資料（印刷物）は、例年と同等の内容を担保するため、定期的に郵送で配布しました。

後期授業は10月5日（一部の実習科目は9月28日）に開始しておりますが、本学の行動指針に照らし、現時点では以下のような考え方で授業を行うことになりました。

- ・1年生：部分的に遠隔授業で対応しますが、基本的には対面による授業を行います。
- ・2年生：水曜日に遠隔授業を集約し、基本的には対面による授業を行います。
- ・3年生：専門科目が主となるため、学科毎の弾力的な対応になります。技術指導に関する演習は、遠隔授業での指導に限界があるため対面で行い、講義科目は部分的に遠隔授業で対応します。
- ・4年生：臨床実習が主となるため、実習前後の演習を含め、学科毎の弾力的な対応になります。

現在もまだ、新型コロナウイルス感染症は終息することなく経過しております。一方、前述した対面授業の再開に加え、部活動等の課外活動も再開しており、学業以外に注意を払わなければならない課題も多いのですが、学生、教職員の健康を第一に考えながら、教務関連事項を進めていきたいと考えております。

最後に、保護者の皆さまにおかれましては、学生の皆さまがコロナを正しく恐れつつ、有意義な学生生活を送ることができるようなご支援をいただきたいと考えております。学生の皆さまが真摯に勉学に励み、真剣に部活動に励み、笑顔で送る学生生活が戻ることを信じ、教職員一同、支援にかかわる努力を重ねてまいります。

## 学部における感染対策について

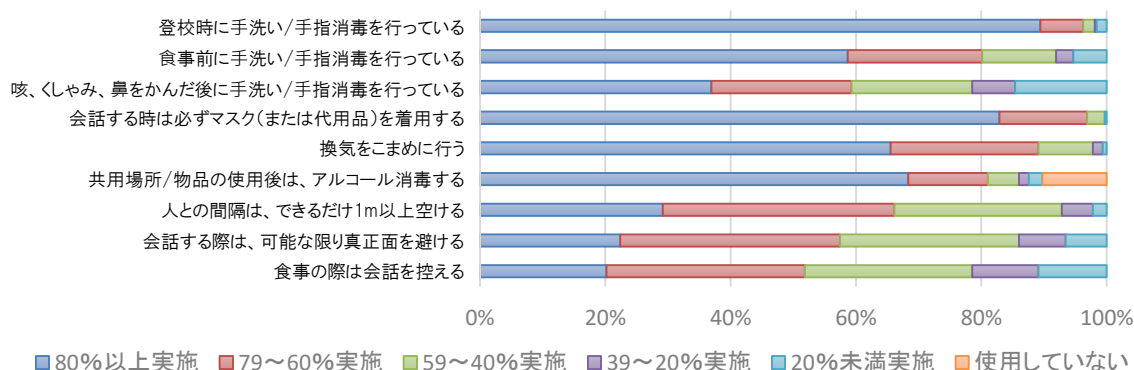
## 感染対策グループ

感染対策Gでは4月以降、大学での授業が安全に行われるよう感染予防策を計画し、教室・実習室等の消毒物品の配置、啓発ポスターの作成・掲示、感染対策や健康管理に関するガイダンスの実施、ロッカー室での密を回避するための配置変更など、本学の行動制限レベルに応じて活動してきました。8月には活動評価の一貫として、一部対面授業を再開した6月以降の学生さんの感染予防策の実施状況について調査しました。調査は学部・専攻科の学生全員を対象に感染予防行動31項目の実施率をたずねました。392名中322名（回収率82%）の協力が得られ、関心の高さがうかがえました。

集計結果の一部をご紹介します。下記のグラフのとおり、外出から帰った時や登校時の手洗い/手指消毒、マスクの着用、換気、共用場所等の消毒は概ね実施できていました。一方、食事前や咳・くしゃみ・鼻をかんだ後の手洗い/手指消毒、人との間隔を1m以上空ける、会話時に真正面を避ける、食事時の会話を控える等の実施率が低く、適切な手指衛生の実施や三密を避ける行動の習慣化が課題であることがわかりました。

本調査結果を踏まえ、9月の定期試験前に再度ガイダンスを実施しました。後期は対面授業が増え、学内で過ごす時間も長くなります。今後は、自動消毒薬噴霧器の設置、構内放送の活用に加え、感染対策係等の学生さんと共に活動を推進していく予定です。学生の皆さんが将来の医療人として社会の模範となる感染予防行動を身につけ、安全に学修できるよう環境を整え支援して参ります。

感染対策アンケート結果（n=322）



# 学事紹介

## 保健医療セミナー（オンライン実施） 令和2年7月17日（金）

本セミナーは、保健医療学部2年生および3年生を対象に、北海道における保健医療職の実際の活動を理解して専門職の具体的なイメージをもち、保健医療職の役割について考えるため、平成27年度より開催してきました。

今年度は、海外において実践経験のある小池真理子氏（（株）訪問看護ステーションアーチ）、松崎由里子氏（日本医療大学保健医療学部）、小林里美氏（北海道立精神保健福祉センター）に、「保健医療職における国際支援：その実際と帰国後に活かされたこと・役立ったこと」について講演をお願いしました。

参加した学生からは「国外での保健医療職の活動について、聞ける機会は限られているので非常に勉強になった」、「海外で働くという選択肢がなかったが、話を聞いて将来を考える上で視野が広がり、自主性の大切さを学んだ」、「海外で活動する経験を通して、医療職に関わる人として必要な人間性を学ぶことが出来ることを知り、海外に目を向けてみる事の大切さを学んだ」などの感想が寄せられました。



## 保健医療総論1 令和2年8月5日（水）～7日（金）

保健医療学部には全4学年・全学科（看護学科、理学療法学科、作業療法学科）の学生を対象にした多職種連携教育科目として保健医療総論（1～4）があります。臨床現場でチームが機能するためには、各職種の相互理解の他、チーム自体の機能の理解、リーダーシップや問題解決の能力が求められます。

1年生が対象となるこの保健医療総論1では、そうした多職種連携能力の基盤となるコミュニケーション能力を身につけるため、コミュニケーションのあり方をテーマにした講演やグループ演習を通して基本的対人スキルや倫理的態度、情報リテラシーを学びます。

例年4月に開催している授業ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染防止のために開催時期が8月に変更となりました。講義やグループ演習などすべての授業メニューをオンラインで実施する方針になり、担当教員による事前の検討を繰り返して実現に至りました。

この科目の一番の特徴は学長や学部長をはじめ、様々な教職員（法人理事・事務職員・病院職員等）の協力を得て、学部生がグループになり、それぞれにインタビューを行うことです。例年は各執務室等に向いて行っていましたが、今年度はすべてWEB会議システムの画面をみながらのインタビューとなりました。学生の柔軟性やネットリテラシーの高さによるのか、インタビューこそ若干の緊張をみせてはいたものの、その他の授業メニューを含めて慣れた様子で課題をこなし、3日間の日程を無事に終えています。参加した学生からは「あらためて自身のコミュニケーションのとり方を振り返り、医療職として求められるコミュニケーションのあり方について学ぶことができた」という感想が寄せられていました。

（科目担当責任者 作業療法学科教授 池田 望）

## 【令和2年度 後期学事予定】（1～4学年）

（4学年共通）

9月28日～ 後期講義開始  
10月12日～ //（3年生・作業）  
3月19日 卒業式

（3年生）

9月14日～ 2月26日 臨地実習（看護）  
9月28日～10月9日 臨地実習（作業）  
12月21日～ 1月3日 冬季休業  
1月25日～ 1月29日 後期定期試験（理学）  
2月1日～ 2月26日 臨地実習（理学）  
2月16日～ 3月5日 後期定期試験（作業）

（1・2年生）

9月28日～10月2日 臨床実習（1年生・理学）  
12月21日～ 1月3日 冬季休業  
1月25日～ 1月29日 臨地実習（1年生・看護）  
1月25日～ 1月29日 臨床実習（1年生・作業）  
2月1日～ 2月12日 臨地実習（2年生・看護）  
2月16日～ 3月5日 後期定期試験（1・2年生）

（4年生）

9月28日～11月20日 臨地実習（看護）  
9月28日～11月27日 臨床実習（理学）  
10月5日～10月20日 臨床実習（作業）  
12月21日、22日 保健医療総論4  
12月23日～ 1月3日 冬季休業

# 保健医療学部学生表彰

保健医療学部では、毎年度、進級制限が設けられている2年生を対象に、学業成績および人物が優秀で他の範となる学生を最優秀者、優秀者として表彰しています。また、課外活動において特に優秀な成績を収め、本学部の名誉を高めたと認められる学生を特別賞として表彰しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式を延期しておりましたが、9月11日（金）に下記の学生が表彰されました。

## 2年生表彰者



### ○ 最優秀賞

- ・看護学科 松田 望里
- ・理学療法学科 井貝 志帆
- ・作業療法学科 山田 ありさ

### ○ 優秀賞

- ・看護学科 阿部 美咲
- ・理学療法学科 山形 一真
- ・作業療法学科 大坂 春奈

### ○ 特別賞

- ・作業療法学科 竹野 留里

## 2年生表彰者の受賞コメント



### ☆松田 望里（看護学科・最優秀賞）

このような賞をいただき大変嬉しく思います。入学時に先生方から日本一課題が多い学校らしいと宣告され、いざ蓋を開けたら本当に課題に追われる日々でしたが、充実した毎日を過ごしたと思います。新型コロナウイルスで今後どうなるか不安もありますが、2年間で学んだ基礎を生かせるように残りの2年間も努力していきたいと思っています。

### ☆阿部 美咲（看護学科・優秀賞）

札幌医科大学に入学して早くも3年目になりました。札幌医科大学看護学科は日本で最も課題が多いと言われていますが、まさにその通りで1年次より膨大な量の課題に追われてきました。しかしこのような環境下でも、親身になって丁寧に指導して下さる先生方や熱心に勉強に励み協力してくれる同期、テストや課題を乗り越えるヒントをくれる先輩のおかげで今回このような賞を頂きました。これからも将来の夢に向かって頑張ります！

### ☆井貝 志帆（理学療法学科・最優秀賞）

この度はこのような賞をいただき、光栄に思います。受賞できたのは、支えて下さった方々のおかげです。本当にありがとうございます。ここで満足せず、今後はより一層気を引き締めて日々精進していきたいと思っています。勉学及び人間的に成長し、目標とする理学療法士像に近づけるように、努力を重ねていきたいです。

### ☆山形 一真（理学療法学科・優秀賞）

この度、優秀賞を頂き大変嬉しく思います。私がこのような賞を頂けたのは、指導して下さった先生方、共に勉強した友人達、そして支えてくれた両親のおかげです。ありがとうございました。今後も地域社会に貢献できる理学療法士を目指し、より一層努力して参ります。

### ☆山田 ありさ（作業療法学科・最優秀賞）

この度はこのような賞をいただくことができ、とても光栄です。自分の頑張りが結果として形になったことが大変嬉しく、頑張ってたよかったです。残り約2年間の大学生活も目一杯楽しみながら、自分の目標や理想の作業療法士像を掲げて、一生懸命勉強に励んでいきたいと思っています。

### ☆大坂 春奈（作業療法学科・優秀賞）

この度は作業療法学科での優秀賞を頂き、大変嬉しく思います。このような賞を頂けたのは、熱心に指導して下さった先生方や共に課題に取り組んだ友人たち、日頃支えてくれた両親のおかげです。心から感謝申し上げます。今後も慢心せず日々勉学に励み、より多くのことを身につけられるよう、鋭意努力して参ります。

### ☆竹野 留里（作業療法学科・特別賞）

この度は特別賞という素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。幼少期からの活動が、このような形で身を結び、さらに大学からも表彰していただいたこと、大変嬉しく思います。

現在、とても大変な状況下ではございますが、今後も、学業と共に様々なことに挑戦して参りたいと思います。



日本民謡協会民謡民舞全国大会青年の部優勝、併せて厚生労働大臣賞も受賞